



医療安全推進フェア取り組み紹介



高松赤十字病院

令和7年度「医療安全推進週間」を11月19日～27日とし、医療安全推進フェアを実施しました。

- ① 患者職員参画企画「医療安全川柳」 ②職員参加企画「KYT 危険を予知して事故防止」 ③研修企画「医療安全研修」を開催しました。

企画① 患者・職員参画企画・医療安全川柳について

今年で10回目、医療安全週間の恒例行事となっていました。患者さんからも「今年度のテーマは?いつから川柳募集しますか?」といった問い合わせがあります。

今年度の募集テーマは、「患者誤認」(一般向け:お名前確認)と「医療安全関連」です。

患者さん・ご家族より12句、職員より38句の応募がありました。授賞川柳5句を紹介します。

企画② KYT 危険を予知して事故防止には、9部署 11作品の応募がありました。

K(危険) Y(予知) T(トレーニング)とは、危険に対するリスク感性を高め、問題解決能力、実践への意欲を高める訓練手法です。まだ起きていないエラーや事故の可能性を察知し事前に防止する手立てを講じる能力を身につける目的があります。職場や作業の状況を描いた写真やイラストシートを使いその中で潜む危険を小グループで話し・考え合い、分かりあって、危険ポイントや行動目標を決定するものです。



企画③ 医療安全研修「転倒転落防止活動」を テーマに11月25日集合研修を実施しました。

(e-ラーニング配信も実施)

「みんなで取り組む転倒防止」

医療安全推進室長 山本 晃義

「転倒予防～私たちができること～」

作業療法係長 末澤 純梨加



医療安全週間の催しを
紹介させてもらいました。
患者さんも参加してくれ、
患者安全を意識する機会
取り組みとなりました。